

# いしのまき

# 市議会だより

No. 12

平成19年11月13日



北上水辺センター  
(北上川や特産のヨシ原を望むことができます)

## おもな内容

条例・補正予算の審議	…………… P 2	提出された議案と結果	…………… P 11
各常任委員会の審査内容	…………… P 2～P 3	人事案件	…………… P 11
平成18年度決算認定審議	…………… P 4～P 5	第3回定例会の会議日程	…………… P 11
一般質問	…………… P 6～P 10	議席の変更	…………… P 12
請願の審査結果	…………… P 10		



いしのまき市議会だよりは、  
環境保護を目的として再生紙を  
使用しています。

石巻市議会のホームページもご覧ください。  
<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/gikai/gikai.jsp>  
へアクセスしてください。

# 条例や補正予算など二十二件原案可決、一件修正可決、二件原案否決

市議会第三回定例会は、九月六日から二十七日までの二十二日間の会期で開かれました。今回の定例会では、平成十八年度一般会計をはじめとする各種会計決算認定のほか、条例や補正予算など市長提出議案二十五件、議員提出議案一件が審議され、このうちコミュニティスペース「オラレ」関連の二条例案については、起立採決の結果、賛成十五、反対十八で原案は否決されました。

また、平成十九年度一般会計補正予算（第四号）に対しては、「オラレ」関連予算およびNPOによる保育士派遣事業関連予算を削除する修正案が、それぞれ所管の常任委員会から提出され、起立採決の結果、両修正案が可決されました。

なお、このほかの提出議案は原案のとおり可決されました。  
石巻市まちの駅「市民交流プラザ」条例について八名の議員が討論を行いました。賛成討論と反対討論の要旨を紹介します。

## 賛成討論

○ 新たなコミュニティの創出と中心市街地の活性化の起爆剤としてオラレの誘致の決定がされた。現在のシャッター街の改善に向けてチャレンジする姿こそ市街地活性化に向けた大きな一歩と確信し、にぎわいの復活を目指すことを大いに評価する。

大臣の許可も下りている、一刻も早い活性化策の展開が急務であり、中心市街のにぎわいの復活の一助になり得るまちの駅市民交流プラザの早期開設を期待する。

○ この事業が地域活性化のための突破口になればと願っており、オラレが廃案となれば中心市街地活性化のためのビッグチャンスを失うことになるので、地域の活性化がさらに遅れることになる。

○ 宮城県警察本部との協議が整い、舟券売場設置の国土交通



起立採決の様子

## 反対討論

の領域である。これまで関係者が熱意を持って設置に向けてきたその努力を無にすべきではない。

○ オラレで舟券を買って遊ぶ人は、ばくち打ちではない。公営ギャンブルは益金が世のため人のために使われており、娯楽

○ オラレの設置予定地は、石巻のまちの顔となる中心商店街にあり、通学路にもなっている。将来を担う青少年の健全育成のための環境作りに努めるべきであり、ギャンブルに頼らず、住民が主人公となった真のまちづくりを進めるべきである。

○ オラレを全て否定するものではないが、中心市街地活性化も含めた街づくりを推進する中

で、オラレが本当に必要なのか、その根拠、その必要性を明確にすべきである。合併後の街づくり、中心市街地活性化への哲学を持たず、オラレ設置だけが目的となってしまう。新石巻市の発展はあり得ず、合意なき政策形成が一人歩きする自治体であるならば、未来に向けて真に社会的活力を期待することはできない。

○ 庁議における市長指示は疑問、また議会に対する説明責任を十分に果たしているとは言えず、設置ありきで進めてきた議会への対応は本末転倒であり、もっと議論をすべきである。

○ オラレの設置が中心市街地への集客には結びつかないと考える。また施設が通学路や救急車の経路に位置しており、子どもが育つ環境として、市民の安全の面から考慮し、私たち市民が受け入れることができるかどうかである。

## 常任委員会での条例・補正予算の審査

九月七日の本会議で条例や補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境福祉、建設、産経教育の各常任委員会に付託されました。

各常任委員会で審査されたことの中から、主な質疑と答弁の内容を紹介いたします。

### 総務企画 市民交流プラザについて

**問** 市民交流プラザと場外舟券売場の設置基準との整合性についてたずねます。

**答** 全国初めてのコミュニティ施設併設型場外舟券売場であり、これまでの場外舟券売

場の設置基準だけでは、確かに難しい点もあると思いますが、緊急救急車両の通行や、当該地が通学路になっている点などについては、警察とも十分な協議を重ねてきており、警備員、交通誘導員の適切な配置や教育、清掃員や監視カメラの配置により万全な対策を講じたいと考えています。

福祉 環境 視覚障害者への情報支援について

問 視覚障害者情報支援のSPコードについてたずねます。

答 SPコードは、視覚障害者のために、日本語で約八百文字の情報を記録し、専用の読取装置により音声で聞くことができるシステムです。

今回は、市から発送する文書について、SPコードを付すため、市内パソコン五十台に専用ソフトをインストールするためのライセンス料、および入力された内容を確認するための読取装置十台の購入経費を計上しています。

なお、視覚障害者がSPコード専用読取装置を購入する際は、厚生労働省の給付対象品に指定されていることから、一割負担



SPコード読取装置

で購入できます。

また、本年十二月に職員を対象とした技術的な研修会を開催し、来年四月からの実施に向け、PRなどを含め、準備を進めていきたいと考えています。

建設

宮城県建築物等地震対策推進協議会特別負担金について

問 宮城県建築物等地震対策推進協議会の特別負担金の内容についてたずねます。

答 宮城県建築物等地震対策推進協議会特別負担金は、本市が耐震改修促進計画を策定する際に必要な地震データ等と同協議会から提供してもらうための負担金です。

この計画については、建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正されたことに伴い、国の基準および県の耐震改修促進計画に基づいて、市町村においても耐震改修促進計画を策定する必要があります。



相川中学校

経産 教育 石巻市立相川中学校の統合について

問 統合に至るまでの協議経過と今後の課題等についてたずねます。

答 石巻市立相川中学校は、生徒数の減少や校舎の老朽化により、教職員の配置や施設設備の整備充実を図ることが困難な状況にあるため、合併以前から北上中学校との統合が協議されてきました。

合併後も継続して協議を続けてきた結果、早期の統合により子どもにより良い教育環境を与えたいとの思いが寄せられたこともあり、平成二十年四月から北上中学校に統合するとの合意に至りました。

また、統合による遠距離通学生徒のため、来年度よりスクールバスを運行することとしてい

ます。

なお、跡地利用については検討委員会を立ち上げることとしているほか、生徒同士の人間関係の形成についても、中総体の練習や弁論大会の合同実施による交流促進や、合同での学級活動や進路指導を行ってきており、一体感を持つよう努めてきています。

平成十九年度一般会計補正予算(第四号)が委員会修正

総務企画委員会では、オラレ関連議案を否決したことに伴い、議員から一般会計補正予算について、オラレ関係費用を削除した修正案が提案されました。起立採決を行った結果、賛成多数により修正可決となりました。

また、環境福祉委員会では、九月十二日に行われた審査においては原案可決でしたが、その後、保育士派遣業務について、宮城労働局より脱法行為である旨の指摘をされていた事実が判明するなど、案件をめぐる環境が大きく変わったことを理由に、委員から再審査の実施要求が提出され、二十六日に再審査実施

の議決がなされ、二十七日に異例の再審査が実施されました。

その結果、保育士派遣業務の実施にあたって、議会や市民に十分な説明責任が果たされていないこと、国から事業内容に対して脱法性が指摘される中、今後の保育行政についての明確なビジョンが示されていないなど、事業について再考すべきであるとして、議員から一般会計補正予算について、NPOによる保育士派遣業務の関連費用を削除した修正案が提出され、全員一致で可決となりました。

※再審査とは？

再審査は、委員会が案件を議決したあと、委員会での審査が十分でなかったことや事情変更等を理由に、委員会での議決で同一案件を再び審査するものです。この場合、先の審査結果は白紙となります。

議会の運営は一事不再議の原則(一度議決した事件は「同一会期中再び提出することができない」)が適用されますが、委員会は最終的な意思決定機関でなく下審査機関であることや、委員会には審査独立の原則が認められていることに伴って特例的な扱いです。



# 総額千百九十二億三千五百六万三千二百八十六円の平成十八年度決算を認定

市議会第三回定例会では、平成十八年度一般会計および各種特別会計ならびに病院事業会計などの決算認定議案が審査され、すべての会計決算について認定されました。

## 常任委員会での決算審査

各常任委員会は、九月十日から九月十四日まで、平成十八年度各種会計決算の書面審査と現地視察を行いました。その中から、いくつかの質疑と答弁および現地視察状況をお知らせします。

### 総務 企画 地域まちづくり 委員会について

**問** 地域まちづくり委員会の活動内容および今後の委員会活動についてたずねます。

**答** 総合計画に盛り込まれたエリア別将来展望についての検討を加えたほか、前年度市長へ提言した地域振興事業等の検討を行い、平成十八年度の各地域の委員会開催回数は、河北一回、雄勝三回、河南三回、桃生三回、北上三回、牡鹿二回行いました。  
また、今後のまちづくり委員会の在り方として、これまでは、

市長からの諮問事項の検討に重点を置いてきましたが、今後は地域の方向性を自由な討議の中から意見を集約する方向にしていきたいと考えています。

### 総務 企画 消防団のポンプ車整備状況について

**問** 各総合支所管内における手引きポンプの配備状況と今後の整備予定についてたずねます。

**答** 各総合支所管内の消防団への手引きポンプの配備状況は、河南地区二十二台、河北

地区二十四台、雄勝地区十一台、桃生・北上地区は〇台、牡鹿地区においては設置式が十九台となっています。手引きポンプの整備については、現段階では平成二十五年度までの消防自動車整備計画があるが、市民の生命財産を守る観点からも、合併特例債を集中的に投資し数年で整備することも検討したいと考えています。



手引きポンプ

### 環境 福祉 障害者相談支援 事業所について

**問** 障害者相談事業所の内容についてたずねます。

**答** 身体、知的、精神障害者の方の各種相談に応じるため、平成九年から宮城県が事業

所を設置してきましたが、障害者自立支援法の改正により、平成十八年十月一日から市町村の必須事業となりました。  
これまでの事業所は、八幡町二丁目開設していましたが、近隣二市一町の住民も利用することから、利便性を考慮して、平成十九年四月からJR石巻駅前の空き店舗を活用して移転開設し、資格を持ったスタッフが二十四時間の相談体制をとっています。

### 環境 福祉 北鰐山墓地の移転について

**問** 墓地移転の現状と今後の見通しについてたずねます。

**答** 平成十八年度末では、二千二百八十九基ありました墓地のうち、千九百四基の移転が完了し、進捗率は八三・一八割となっています。

残り三百八十五基のうち、無縁と思われる約二百基については、平成十八年二月一日に無縁の改葬公告を行った結果、本年一月末をもって無縁が確定して



北鰐山墓地

います。  
さらに、使用権喪失のための公告を本年二月一日に行い、五年間申し出がなければ権利喪失となることから、無縁墓地移転については、平成二十四年一月以降になります。  
なお、有縁墓地についても継続して協力をお願いしていきたいと考えています。

### 建設 総合運動公園未整備用地について

**問** 総合運動公園未整備用地のその後の検討状況についてたずねます。

**答** 石巻市総合運動公園の未整備用地の今後の施設整備や活用について検討するため、総合運動公園用地検討委員会を七月十七日に設置し、七月二十

六日に委員会と幹事会の合同会議を開催しました。その中で、総合運動公園に関するこれまでの経過、今後の課題等について説明し、各幹事から今後の利用について意見を徴したところ、その結果がまとまったので、今議会終了後に幹事会を開催すべく準備を進めており、その結果については、後日改めて報告したいと考えています。



石巻市駅前駐車場

**建設**  
**市営駅前駐車場**  
**について**

**問** 石巻市駅前駐車場の収益状況と今後の活用についてたずねます。

**答** 石巻市駅前駐車場については、駅前周辺の交通渋滞の緩和、歩行者や車両交通の円滑化・安全性の確保等を目的として、三十分の無料区間を設け

て管理運営しています。さくら野百貨店内にあった映画館が他地区へ移転したことなどにより、平成十七年度と比較して利用台数と利用収入が減っていますが、今後は、長時間利用者への利用料金の軽減措置や月極契約の実施など、利用形態の見直し・検討を進め、利用率の向上および収益の安定化を図ってきたいと考えています。

**経産**  
**教育**  
**石巻まるごとフェス**  
**ティバルについて**

**問** 昨年度より名称と場所を変更して開催された、石巻まるごとフェスティバルの結果と反省点についてたずねます。

**答** 平成十七年度まで、市産品まつりの名称で蛇田のJA倉庫にて開催していましたが、十七年度実績は、出店数五十三店舗、来場者約三万二千人、売上額三千四百二十四万円でした。十八年度より名称を変え、市内中心部で開催しましたが、出店数三十九店舗、来場者約三万八千人、売上額二千五十万円となっており、出店数、売上額ともに減少となりました。その要因としては、会場が移転した

ことによる準備不足の感が否めず、十九年度は早期に実行委員会を立ち上げ、万全の体制を組み、出店数を増やしていきたいと考えています。



昨年の石巻まるごとフェスティバル

**経産**  
**教育**  
**鯨食文化の保存および**  
**普及啓発について**

**問** 鯨肉の頒布（はんぷ）の状況についてたずねます。

**答** 優れた栄養特性を持つとされる鯨肉については、住民頒布、イベント等での特別頒布および学校給食での利用促進に努めています。牡鹿地区においては冷凍鯨肉を一キロ当たり二千円にて、生肉については一キロ当たり三千円円で住民頒布を行っています。頒布方法については購入希望を募った上で購入券を配布しており、冷凍肉で約八割、生肉で約九割の世帯が

申し込んでいます。

イベント等での特別頒布は、昨年は十二会場で実施しましたが、これを通じて、従来、特定地域に限定されてきた鯨肉に対

する認識が広域に広がりつつあると考えています。今後も頒布会等を通じて鯨食文化の保存と普及啓発をPRしていきたいと考えています。

**決算審査のための各常任委員会の現地視察**

〔総務企画委員会〕



〔建設委員会〕



〔環境福祉委員会〕



〔産経教育委員会〕



# 市政に対して おたずねします

## 一 般 質 問

### 新農業政策の課題 への対応について

第三回定例会の一般質問は、九月二十日、二十一日、二十五日、二十六日および二十七日の五日間行われました。

一般質問には二十二人の議員が登壇し、市政全般にわたって市当局の見解をいただきました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介いたします。

**問** 品目横断的経営安定対策「個別から集落営農」への転換等についておたずねします。

**答** 国は、地域の担い手農家、あるいは集落営農組織を対象とした品目横断的経営安定対策について、今年度から具体的な運用を開始しています。

本市においても、石巻市産業振興プランに担い手農家の育成強化を掲げ、その取り組みについて推進を図っています。その結果、平成十九年産の品目横断的経営安定対策については、認定農業者と集落営農組織で計二百六十三経営体の加入申請があり、麦・大豆・水稲で計四千二百八十三畝をカバーすることができ、当初の目標面積を十分にクリアした結果となっています。

今後も農業を取り巻く諸課題を解決していくため、「個別から集落営農」への転換など今後様々な取り組みを推進していきたいと考えています。



### 石巻市の森林について



森林 (旭山)

**問** 森林の役割とその活用についておたずねします。

**答** 本市の森林面積は、三万千四百二十二畝となっており、市全体面積の約五十六割を占めており、木材の生産、自然災害の防止、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止など、多様な公益的機能を有しています。

市内合板会社四社では、市内の間伐材を原木として建築用合板を製造しており、これらの地元木材の活用を含め、間伐を主体とした森林整備の推進と木材の利用促進を図り、林業の活性化に貢献したいと考えています。

また、「自然は最高の教師」といわれるように、自然豊かな森林を情操教育や環境教育の場と位置づけ、体験活動などを通じて子どもたちの人間形成に役立てており、緑の大切さに対する理解が深まるよう指導していきたいと考えています。

### 雄勝産スレートの今後について

**問** 東京駅復元で屋根工事に使用が決まった雄勝産スレートについておたずねします。

**答** 東京駅丸の内駅舎の保存・復元での屋根工事は平成二十一年十二月頃から予定されており、使用されるスレートの枚数は約十八万枚になる見込みです。数量の確保については、屋根工事の開始まで約二年間の期間があることや作業員の増員などにより可能であります。

東京駅は、全国のみならず世界各地から訪れる多くの方々が利用する駅であり、今回は本市を売り込む最大のチャンスです。今後は石巻雄勝産天然スレートが東京駅の屋根材として使用されることを前面に打ち出してPRすることとし、東京駅におけるイベント開催や企画展などの実施に向けて取り組んでいきたいと考えています。



東京駅丸の内駅舎

### 中心市街地の活性化 対策について



マンガキャラクターを設置したマンガロード

**問** マンガキャラクターを多く設置した快適な歩道の整備についておたずねします。

**答** 本市では、中心市街地の魅力を高めるとともに、歩く楽しさを演出し、中心市街地の回遊性を高めることを目的として、故石ノ森章太郎氏のマンガキャラクターに関連したモニユメントやベンチ等を整備しています。

マンガロードは石ノ森萬画館との相乗効果によって、中心市街地のにぎわいの創出に寄与しているものと考えています。

石巻駅から萬画館へ行くマンガロードにモニユメントなどを数多く設置し親しみのもてる快適な歩道整備拡充については中心市街地活性化のための有効な手法の一つであると考えており、今後も活性化策として検討していきたいと考えています。





内海橋の歩道

### 内海橋の歩道の待避所設置について

**問** 内海橋の歩道に待避所を設けることについて、その後の状況をたずねます。

**答** 内海橋は、昭和八年三月八号の一部として宮城県が管理しています。その歩道の有効幅員は一辺程度であり、通勤・通学時における歩行者や自転車利用者をはじめ、石ノ森萬画館を訪れる観光客は互いに譲り合って通行している現状です。これまでも橋の架け替えや歩道の拡幅を含め、橋を管理している宮城県石巻土木事務所に要望を行ってきましたが、今般、新しい橋に架け替えるまでの暫定的な措置として、安全性や耐久性を確保しつつ、橋の軽量化を図った構造による歩道の拡幅整備が事業化されることとなり、今年度末までに詳細設計が完了する予定です。

### 新生「石巻市」誕生三周年記念式典について

**問** 新生石巻市誕生三周年記念事業についてたずねます。

**答** 新生石巻市が平成十七年四月一日に誕生し、平成二十年四月に三周年を迎えることから、この節目を市民総出で祝い、さらなる一体感の醸成を図ることを目的として、記念事業を計画しています。

その内容は、市民憲章の制定やイメージキャラクターの作成、そしてそれらのお披露目などを含めた式典の開催などです。さらに、本市の総合計画のキャッチフレーズである「食彩・感動いしのまき」をテーマとし、室内の式典と合わせて、会場の外では地場産品の豊かさをアピールする「物産販売フェア」をはじめ、多彩なイベントを企画し、石巻市誕生三周年記念事業を市民を挙げて盛り上げていきたいと考えています。



石巻市役所本庁舎

### 市政運営について

**問** 過去二年間の決算を踏まえ、旧市町の着手事業を引継いだため、合併時の財政計画を大きく上回る投資的事業を実施し、平成十八年度は、十月六日の低気圧災害で被災した漁港など多数の公共施設の復旧工事のほか、公立深谷病院企業団への一時借入金清算にも対応しました。結果的に、公立深谷病院企業団関係費で、財政調整基金を取り崩すことになりましたが、経常収支比率や公債費残高などの決算指標数値は、幾分改善できました。地方交付税総額の縮小や税収の伸び悩みなど、今後も限られた財源の中で将来を見通した予算編成に心がけ、災害等有事における対応にも憂いのないよう健全財政運営に努めていきたいと考えています。



旧・公立深谷病院

**答** 平成十七年度は、合併による旧市町の着手事業を引継いだため、合併時の財政計画を大きく上回る投資的事業を実施し、平成十八年度は、十月六日の低気圧災害で被災した漁港など多数の公共施設の復旧工事のほか、公立深谷病院企業団への一時借入金清算にも対応しました。結果的に、公立深谷病院企業団関係費で、財政調整基金を取り崩すことになりましたが、経常収支比率や公債費残高などの決算指標数値は、幾分改善できました。地方交付税総額の縮小や税収の伸び悩みなど、今後も限られた財源の中で将来を見通した予算編成に心がけ、災害等有事における対応にも憂いのないよう健全財政運営に努めていきたいと考えています。

### 災害支援協定について

**問** 災害支援協定が未締結の医療機関や石巻コミュニケーション放送と早急に協定締結すべきと考えるが、見解をたずねます。

**答** 災害時における医療救済活動は、本市の病院部局において救護所等の開設・運営や医薬品、資機材の確保をどこまで行えるかについて、医師会や日赤病院等との連携を視野に入れた中で確認し、協力体制構築の在り方を研究していきたいと考えています。

また、災害時においては、石巻コミュニケーション放送も加入している本市の記者クラブを通して報道各局へ災害関連情報等を提供して広報を行っていただいております。市としては、その提供した情報の内容に対する問い合わせや取材等に対して、今後とも積極的に対応していきたいと考えています。

### 環境対策について

**問** 環境基本計画の基本目標と市の役割についてたずねます。

**答** 石巻市環境基本計画は、本年四月に策定し、目指すべき環境像として「多様な自然との共生、心豊かな生活、未来につなぐ美しいふるさと」を、また、環境像の実現のための基本目標として「広域的、地球的視点に立った健全なまち」、「自然と共生するまち」、「資源が循環し、環境への負荷が少ないまち」、「地球が連携し、市民が行動するまち」を掲げています。



市の役割としては、本計画に掲げる施策を総合的・計画的実施し、率先して環境への負荷の少ない事業の実践に務めるとともに、市民・事業者の方々に対し、環境に関する情報提供、啓発、支援などを実施していきたく考えています。



## 市民農園について

**問** 上釜市民農園の閉園と、これからの市民農園のあり方についてたずねます。

**答** 上釜市民農園は、平成八年に開設し、市民の皆様方からは大変好評を得て、名実ともに「市民の農園」として定着していましたが、土地所有者の諸事情により、誠に残念ながら、今年の三月、閉園することとなりました。

市民農園の再開を検討するに当たり、幅広いニーズへの対応、既存施設の有効活用、他の事業への発展性の三項目について摸索した結果、旧上釜市民農園のような都市型の市民農園のみならず、豊かな自然環境に恵まれた既存の施設を活用しつつ、宿泊などを可能とする「郊外型市民農園」の開設に向けて、現在、調整を進めている段階です。



石巻青果市場

## 石巻青果市場移転整備問題について

**問** 石巻青果市場の移転整備問題および今後の連携について、見解をたずねます。

**答** 石巻青果花き地方卸売市場は、(株)石巻青果を新たな開設者として民営化し、市場運営が開始されました。市場の整備に関する協議では、支援を含めた移転整備へと変更となった以降は、本市への移転を強く要望するとともに、本市候補地の優位性をお話してきました。

移転先については、(株)石巻青果が決定することはいえ、東松島市の候補地が選定され、非常に残念な結果となりました。青果市場は、本市のみならず、石巻圏域の拠点となる市場であり、生産者の立場から、そして、何よりも消費者である市民の皆様への「食の安心・安全」の観点からも、今後とも連携を図っていかねばならないものと考えています。

## 離島の活性化について

**問** デスティネーションキャンペーンペーンの実施を踏まえ、本土と離島間の連携体制についてたずねます。

**答** 来年行われる仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに向けて、現在、その石巻実行委員会を中心に、様々な事業の企画を進めています。そうした中で、市内に訪れた観光客を、いかに網地島や田代島まで誘導できるかが、一つの鍵となりますが、幸いにも、国土交通省の調査事業の一環として、十一月月上旬に行われる網地島と田代島を巡るモニターツアーが行われることから、これを通じて課題を抽出し、各島における四季を通じた周遊メニューの開発や、受け入れ体制の強化など対応策を検討したいと考えています。



網地島冒険楽校

## 中心市街地活性化について

**問** 中心市街地活性化の取り組みについてたずねます。

## オラレ石巻誘致について

**問** 「オラレ石巻」誘致に伴う子どもたちの教育への影響についてたずねます。

**答** 「オラレ石巻」誘致の最大の目的は、中心市街地のにぎわい復活と市民交流の場の提供等、市民の福祉増進施策の一環です。

オラレ誘致に伴う子どもたちの教育への影響については、ギャンブル施設が全国各地に公営で設置されている現実社会の中で、自分を律することができ子どもたちを育てていかなければならないのが、私たち大人の責務ではないかと考えており、オラレという施設が、子どもたちの健全な育成に甚だ問題があるものなのかどうかは、その存在の善し悪しよりも、私たち大人がどのような危機管理を行っていくか、そして子どもたち自身がどのような心をとらえるのかといった心の問題ではないかと考えています。



**答** 本年四月、石巻商工会議所から「中心市街地活性化に関する要望」を受け、その実現に向けて、庁内に石巻市中心市街地活性化推進会議を設置し、同推進会議では、研修会や同会議所との意見交換会を開催して検討・協議を行っています。

中心市街地活性化の問題は、時代の進展に伴って発生している根が深い問題であり、自治体を取り組む公共事業だけでは活性化につながらないことから、本市独自の官民一体となった取り組みを構築することが必要となります。

今後は関係者や市民の皆様の間を踏まえながら、早期の基本計画策定に向けて庁内に専任の体制を整備し、作業を本格化させていきたいと考えています。



中心市街地の様子





石巻市議会の議場

### 子どもたちの健全育成 について

**問** 子ども議会の開催について、見解をたずねます。

**答** 子どもたちに、市に対する思いや夢を考えてもらう機会として、子ども議会の開催は、そのひとつの機会であると考えます。

本市では、本庁において市長室開放デー、総合支所では移動市長室を、更に、夏休みには親子市政教室を実施しており、小学生のグループが訪問され、本市の環境について研究したことをお話しされるなど、市に対する強い思いを感じさせられることもあり、これも市への関心を深めてもらうためのきっかけになっているものと考えています。

将来の石巻市の夢を描き、健康やかに子どもたちが育つように事業を検討する中で、子ども議会につきましても、ひとつの方策として考えています。

### 仙台・宮城デスティネーション キャンペーンについて

**問** デスティネーションキャンペーンに向けた取り組みについてたずねます。

**答** 本年一月に「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン実行委員会」を設立し、観光商品作りに必要な素材提供や特別企画の開発による観光客受入態勢の整備に努めています。

特に、本市の豊富な食材を利用し、「食」と「観光施設」を結びつけた事業展開を図り、金華ブランドとして売り出している石巻の旬の魚介類を食材とした「金華御膳・金華ランチ」や宿泊パックの商品化を企画しているほか、石巻駅を発着点とし市内観光施設を周遊するジャンボタクシーの運行や市独自のガイドブックの作成など特別企画による受入態勢について準備を進めています。



ブレDCで33年ぶりに石巻を走ったSL



石巻新庄道路の概略図

### 石巻新庄道路について

**問** 石巻新庄道路の計画路線への早期昇格についてたずねます。

**答** 本市と山形県酒田市を結ぶ地域高規格道路は、太平洋側と日本海側を最短で連結する東北地方中央部における横断ルートとして、沿線地域の産業経済の活性化はもとより、災害時の救援や復旧、救急医療活動の充実、観光資源の有効活用などについて大きな効果が期待される重要な路線です。

石巻・酒田間のうち、「石巻新庄道路」については、事業化を目指し、候補路線から計画路線への昇格に向けて要望を行っているところです。

国では中期的な道路整備計画を本年中に作成することから、引き続き沿線市町や関係団体と連携を図り、国および両県に対して積極的に要望していきます。

### 行政システムの機能 について

**問** 最近の行政システムは正常に機能しているかたずねます。

**答** 政策形成については計画策定と予算編成の二つに大きく区分されます。計画策定については、長期的な視点に立つたまちづくりのための方向性と目標を定める総合計画や個別の計画があり、審議会、協議会あるいは委員会等を設置し、慎重なる審議を経て策定してパブリック・コメントに付すという手順を踏んでいます。

また、予算については、当初予算編成方針を策定し、その編成方針に基づき担当各部で予算案を作成後、財政課、続いて総務部長、最終的に両副市長そして市長の査定を経て、議会へ上程しており、それぞれ必要な手順を踏み、十分な検討の下に行っており、システムは正常に機能しているものと考えています。



### オラレ石巻に関する 議案が否決されたら

**問** 「オラレ石巻」の関連議案が否決された場合についてたずねます。

**答** 「オラレ石巻」の関連議案が否決された場合、開設予定地の賃貸契約もできないことから、改修工事等にも取り掛かれず、開設は不可能であると考えています。

オラレの開設は、本市はもとより、「東京都青梅市」、「東京都モーターボート競走会」および「競艇振興センター」との強い信頼関係のもと、一丸となり開設に向けて取り組んできており、施設設計等を含めた改修工事の準備に入るなど、既に費用負担も発生していることから、本市だけの問題ではなく、国土交通省および宮城県警察本部などの関係機関も含めて、各方面に多大なる影響を及ぼすこととなります。



オラレ石巻の完成イメージ



子育て応援カード

### 少子化対策について

**問** 少子化対策プロジェクトの内容と成果についてたずねます。

**答** 安心して子どもを生み育てる環境をつくり、次世代を担う子どもを育成する家庭を地域社会全体で支援するための各種施策を具現化することにより、子育てしやすい環境を実現するため、本年七月に「子育てしやすいまちづくり検討会議」を設置しました。現在、ワーキングチームにより、事業の見直しや新規事業の掘り起こしを行っており、本年十月中には施策として取りまとめます。

具体的な事業としては、育児サークルとの交流・指導を行うほか、子育て応援カード事業を実施していますが、子育て応援カードは利用が少ないことから、まだまだ啓発に努めなければならぬと考えています。

### 不動町・八幡町・湊町の冠水問題について

**問** 不動町・八幡町・湊町の冠水問題についてたずねます。

**答** 九月七日の台風九号により、断続的な降雨と高潮の影響で、旧北上川の水位がはん濫注意水位、さらには避難判断水位を超えたため、水防警報が発令され、当該地区をはじめ、旧北上川沿いの十二の地区に対し避難勧告が発令されるなど、大きな被害が予想される事態となりました。

これらの地区は、昨年十月の低気圧でも、降雨と高潮の影響で長時間にわたり浸水被害を受けていることから、当地区の排水系統の現況調査を行い、既設水路の吐き口の改修や県道および市道の排水系統の見直し、併せて旧北上川の石積み護岸の改善など、関係機関と連携を取りながら、早急な対策に向けた協議を進めています。



昨年10月の道路冠水状況



情報公開コーナー

### 情報公開による市政の透明性について

**問** 情報公開による市政の透明性の確保と推進についてたずねます。

**答** 情報公開は、市民の市政に対する理解と信頼を深め、市民の参加による公正で開かれた市政の推進を図ることを目的として行っています。

個人情報や訴訟にかかわる文書など、開示できない場合もありますが、市で保有する情報については、支障のない範囲内で、公開することとしています。

官民協働のまちづくりが推奨される中、市民の市政への参画は、市との信頼関係が重要であると認識しており、今後とも情報公開条例の趣旨にのっとり、一層の情報公開の充実に努めていきたいと考えています。

### 請願の審査結果

第三回定例会において審議され、採択された請願は、次のとおりです。

医師・看護師を確保するための請願

(請願者)

宮城県医療労働組合連合会

執行委員長 吉田久美子

外二団体

環境福祉委員会に付託。九月十二日の委員会での審査結果は採択となり、九月二十七日の本会議で委員長報告後に採択され、関係機関に意見書を提出することに決まりました。

### 【意見書の要旨】

国民は、健康保険証さえ持つていれば、一部負担だけで、誰でも・いつでも・どこでも受診することができ、世界に冠たる国民皆保険制度に対して絶大な信頼を寄せています。

しかし、ここ数年、政府の財政優先による医療費削減政策の結果、患者一部負担の引き上げ、高齢者のための長期入院施設の削減、リハビリテーションの回数制限等々、公平・平等な医療

を受ける機会を奪う結果となりました。

また、全国各地で医師・看護師不足による病院閉鎖や診療科の縮小などの影響が続出しており、さらに、国民から医療へのフリーアクセスも奪い、患者の医療負担を増やすような政策がとられ、我が国の医療崩壊が懸念されます。

よって、国においては、安心・安全な医療が持続して提供できる政策実現のために、そして、世界に誇る我が国の公的医療保険制度の維持・再構築に向け、左記の事項について問題解決に当たられるよう強く要望します。

一、国民のための医療政策を実現すること。  
二、国民の生命と健康を守るための医療費財源を確保すること。

三、医療格差を是正すること。  
四、患者の負担を増加させないこと。  
五、高齢者のための入院施設を削減しないこと。

六、医師・看護師不足を解消すること。

七、医師・看護師の増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の保障を実現すること。

提出された  
議案と結果

決 算

〔いずれも原案認定〕

▼平成十八年度石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について

▼平成十八年度石巻市病院事業会計決算認定について

▼平成十八年度公立深谷病院企業団病院事業会計及び指定居室サービス事業会計決算認定について

条 例

〔いずれも原案可決〕

▼郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

▼石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例

▼石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

▼石巻市営住宅条例の一部を改正する条例

▼石巻市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例

▼石巻市勤労者住宅条例の一部を改正する条例

〔いずれも原案可決〕

▼石巻市まちの駅「市民交流プラザ」条例

中心商店街の空き店舗を活用し、多くの市民、観光客等が気軽に集えるコミュニティ施設を設置し、中心市街地におけるにぎわいの創出と市民の福祉の増進を図ることを目的とし、財団法人競艇振興センターの支援を受け、開設を目的としているコミュニティ施設と勝舟投票券の場外発売場を併設する、地域還元型コミュニティスペース「オラレ」の一部に、市民の皆様を始めとし、中心市街地を訪れた方々に憩いの場、あるいは様々な地域活動の拠点として利用していただく、石巻市まちの駅「市民交流プラザ」を設置するものです。

▼石巻市まちの駅「オラレ石巻」基金条例

まちの駅「市民交流プラザ」に併設される勝舟投票券場外発売場「オラレ石巻」が、本年十二月に開設される見込みであることから、場外発売場を運営する「東京都青梅市」との場外発売場「オラレ石巻」設置に関する協定書に基づき支払われる協力費を、教育、福祉および環境施策の推進ならびに地域住民のコミュニティ活動や中心市街地活性化事業に対する支援施策の充実と、まちの駅「市民交流プラザ」の円滑な運営を図るための財源として積み立て、効率的に活用することを目的に制定しようとするものです。

予 算

〔いずれも原案可決〕

▼平成十九年度石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)

▼平成十九年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)

▼平成十九年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第一号)

▼平成十九年度石巻市一般会計補正予算(第五号)

▼平成十九年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第二号)

そ の 他

〔いずれも原案可決〕

▼専決処分の報告並びにその承認を求めることについて(平成十九年度石巻市一般会計補正予算)

第三回定例会の  
会 議 日 程

9月6日 本会議 開会、会期の決定、提案理由

7日 本会議 決算、条例案、予算案等審議

10日 委員会 総務企画委員会

11日 委員会 総務企画委員会

12日 委員会 環境福祉委員会

13日 委員会 産経教育委員会

14日 委員会 建設委員会

20日 本会議 一般質問

21日 本会議 一般質問

25日 本会議 一般質問

26日 本会議 一般質問

27日 本会議 一般質問、追加

人権擁護委員  
候 補 者 を

人権擁護委員の任期が満了となるため、次の方を推薦することについて、異議がありませんでした。

【再任】

▼萬代宮子氏

認を求めることについて

(平成十九年度石巻市一般会計補正予算)

▼専決処分の報告並びにその承認を求めることについて

(住居表示に伴う関係条例の整理に関する条例)

▼公有水面埋立地の用途の変更に関する意見について

▼公有水面埋立地の用途の変更に関する意見について

▼財産の処分について

(旧桃生総合支所及び旧桃生公民館跡地の売払いに関するもの)

▼財産の処分について

(河北穀類等乾燥調製貯蔵施設敷地の売払いに関するもの)

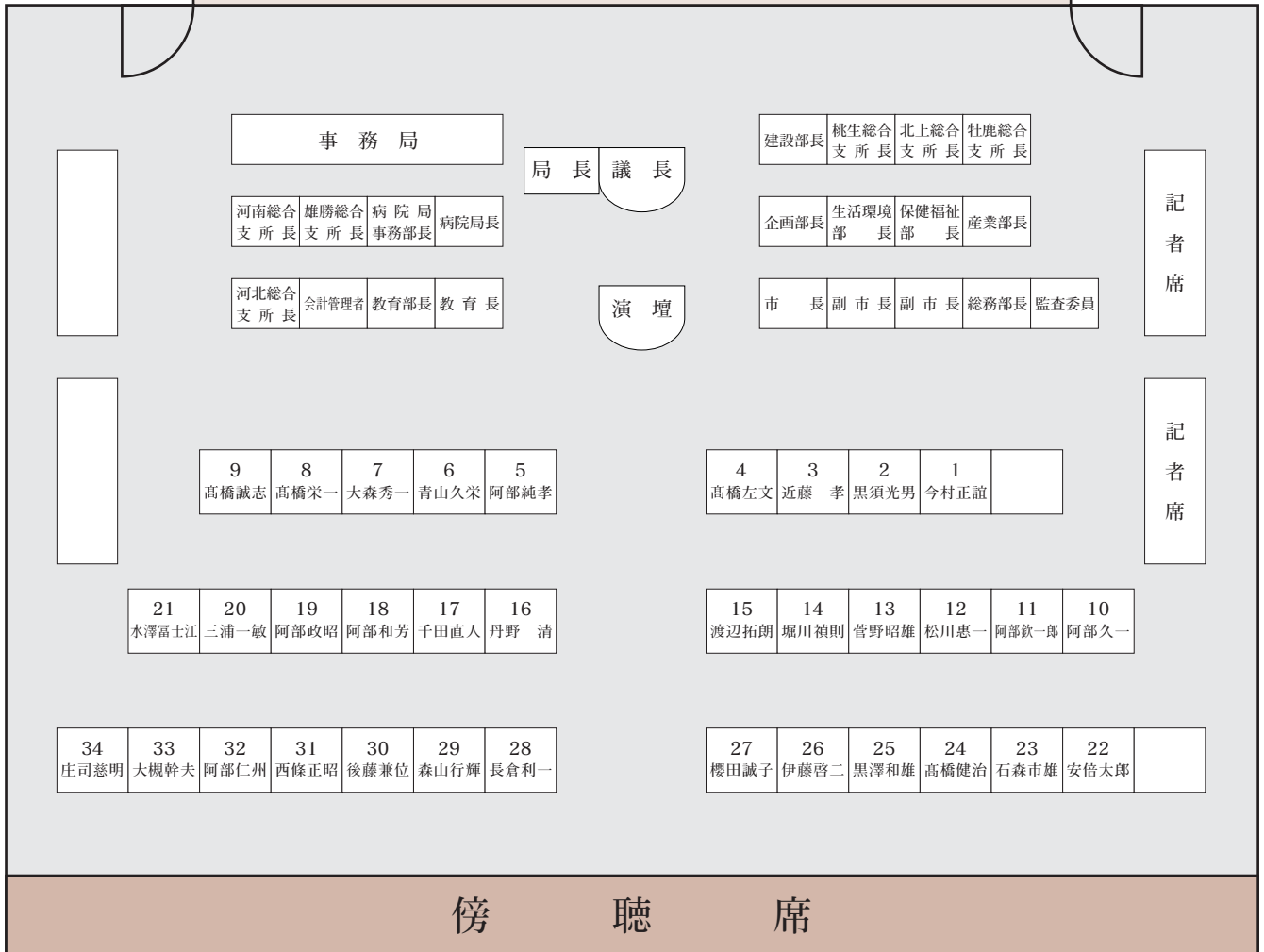
▼工事請負の契約締結について

(石巻市内排水ポンプ場スクリューポンプ設置機械設備工事)

▼人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて



# 議 場 案 内



(今回の議会で、議席の一部変更がありましたのでお知らせします)



議会棟入口に設置した提案箱

## ご意見拜聴 「市民の聲」が スタートします

石巻市議会では、市民福祉の向上を目指し、開かれた議会運営に努めています。  
今後とも開かれた議会を推進し、市民の負託に応えるため「市民の聲」を実施することになりました。  
議会運営について皆様のご意見をお聞かせください。  
●提案は、次に掲げる方法により随時受け付けます。  
一、提案箱への投函  
二、郵送  
三、電話、ファクシミリ、電子メール  
四、来庁による口頭提案等

- 提案者には、速やかに回答を送付します。
- 提案内容および回答結果は、各市議会議員へ周知します。(個人の氏名は公表しません)
- 提案等で特に公表する必要があるものは、議会だより等で公表します。(個人の氏名は公表しません)

※提案箱は、議会棟の入口と議場傍聴席に設置しています。  
※電子メールについては、石巻市議会のホームページをご覧ください。

※電話、ファクシミリは議会事務局までお願いします。  
住所 千九八六―八五〇―  
石巻市日和が丘一丁目一番二号  
電話 〇三五一九五一―二一代表  
FAX 〇三五一九六一―三七四

## 市政を知るために 議会を傍聴してみませんか

本会議の開会時刻は原則午後一時ですが、議会運営上開会時刻が変更になることがあります。  
次の定例会は十二月五日から二十一日までの予定です。